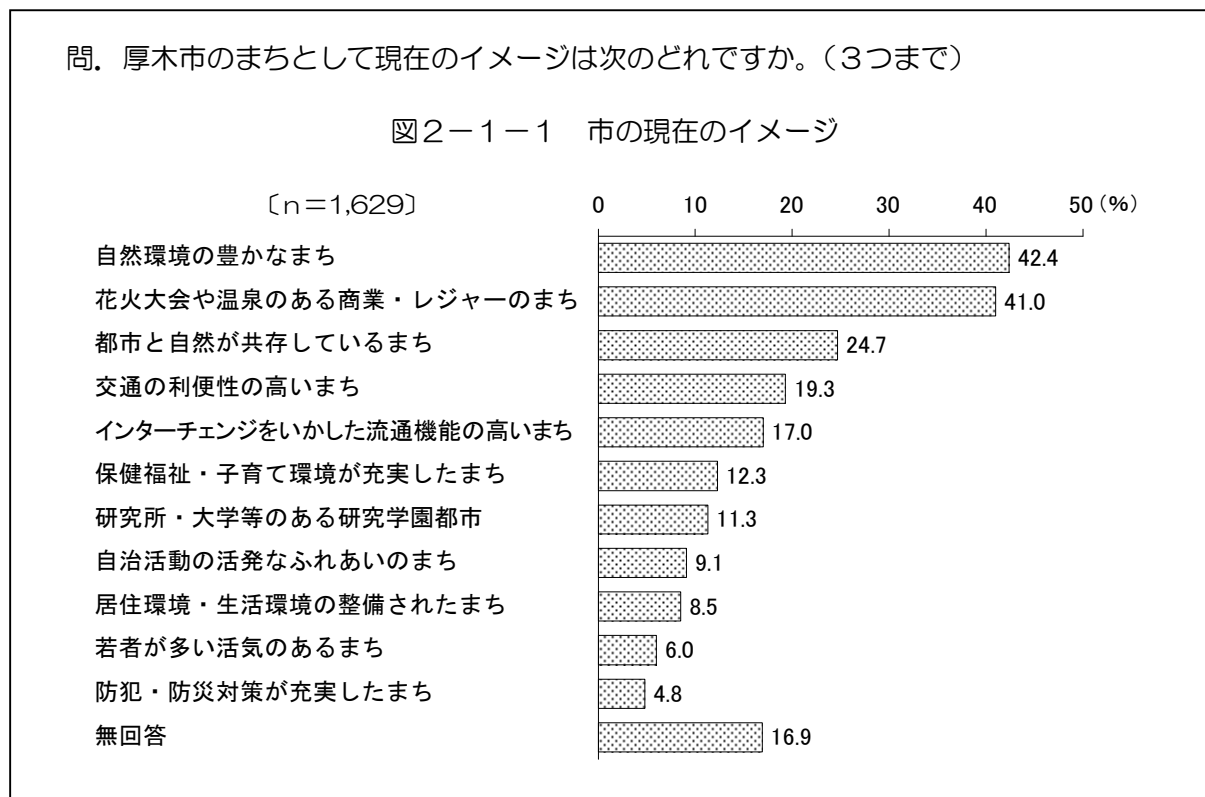


2 市の現状と将来

(1) 市の現在のイメージ (A・B：問 35①)



【全体】

現在の厚木市のまちとしてのイメージを聞いたところ、「自然環境の豊かなまち」(42.4%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「花火大会や温泉のある商業・レジャーのまち」(41.0%)、「都市と自然が共存しているまち」(24.7%)、「交通の利便性の高いまち」(19.3%)となっている。

【経年変化】

前回調査との比較は、選択肢が異なるため、参考に掲載する。

表2-1-1 市の現在のイメージー経年変化(3つまでの複数回答)

(%)

順位	平成23年度 (n=1,629)	平成21年度 (n=3,218)	平成19年度 (n=3,006)	平成17年度 (n=2,010)
1	自然環境の豊かなまち 42.4	花火大会、鮎、温泉(飯山、七沢)のまち 45.7	花火大会、鮎、温泉(飯山、七沢)のまち 46.5	花火大会、鮎、温泉(飯山、七沢)のまち 49.0
2	花火大会や温泉のある商業・レジャーのまち 41.0	恵まれた自然環境を持つまち 41.1	恵まれた自然環境を持つまち 42.9	恵まれた自然環境を持つまち 43.4
3	都市と自然が共存しているまち 24.7	都市と自然が共存するまち 22.6	都市と自然が共存するまち 23.3	都市と自然が共存するまち 25.7
4	交通の利便性の高いまち 19.3	交通の利便性の高いまち 16.4	交通の利便性の高いまち 17.6	交通の利便性の高いまち 20.6
5	インターチェンジをいかした流通機能の高いまち 17.0	ハイテク・研究開発型企業の集まるまち 6.7	ハイテク・研究開発型企業の集まるまち 6.2	自治活動の活発なふれあいのまち 5.8

【属性別】

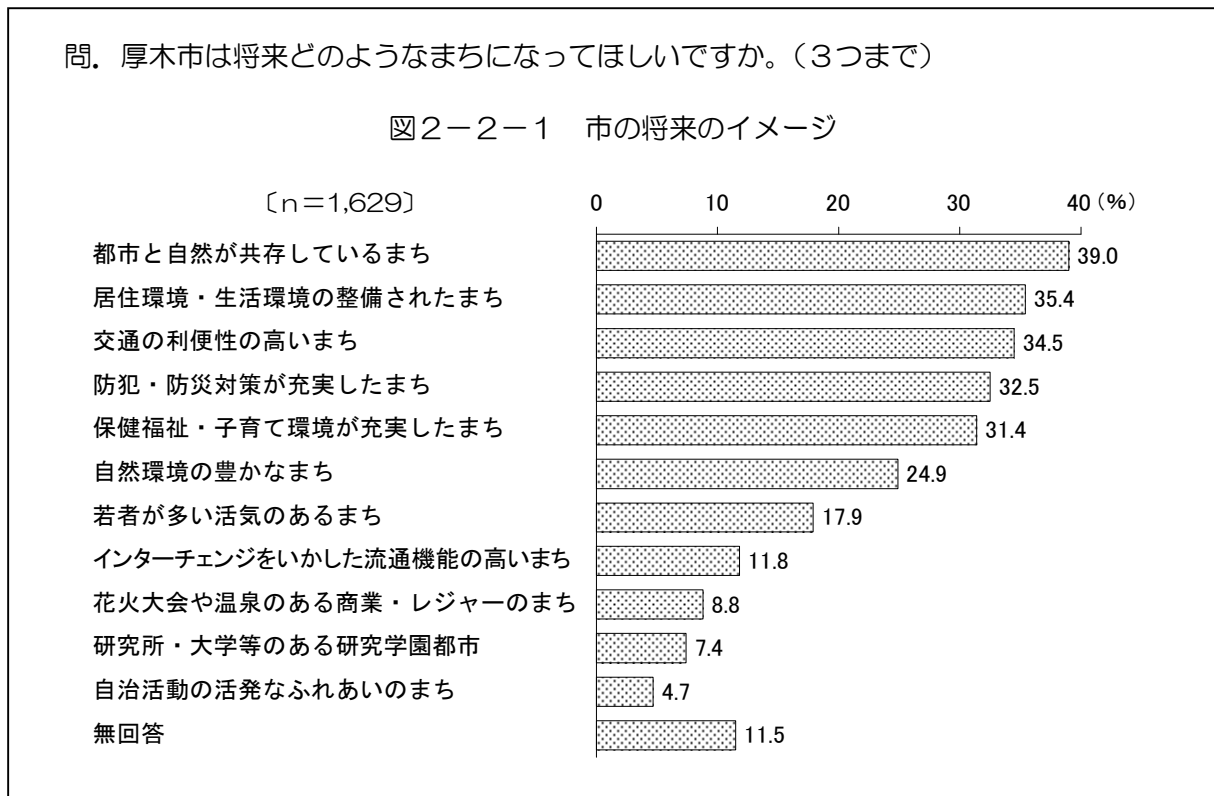
性別にみると、男性で「インターチェンジをいかした流通機能の高いまち」（21.9％）が女性より 8.5 ポイント高くなっている。一方、女性で「保健福祉・子育て環境が充実したまち」（15.2％）が男性より 6.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30 歳代で「保健福祉・子育て環境が充実したまち」（22.0％）が 2 割を超え他の年代より高く、20 歳未満で「若者が多い活気のあるまち」（20.8％）がほぼ 2 割で他の年代より高くなっている。

表 2-1-2 市の現在のイメージ-性別、年齢別（3つまでの複数回答）

		n	自然環境の豊かなまち	花火大会や温泉のあるまち	商業・レジャーのまち	都市と自然が共存しているまち	交通の利便性の高いまち	インターチェンジをいかした流通機能の高いまち	充実したまち	保健福祉・子育て環境が	研究所・大学等のある	自治活動の活発なふれ	あいのまち	居住環境・生活環境の	整備されたまち	若者が多い活気のあるまち	防犯・防災対策が充実したまち	無回答
全 体		1,629	42.4	41.0	24.7	19.3	17.0	12.3	11.3	9.1	8.5	6.0	4.8	16.9				
性別	男 性	694	41.8	39.2	27.2	20.7	21.9	8.6	12.2	8.1	9.4	6.1	5.9	15.9				
	女 性	917	43.0	42.5	23.1	18.3	13.4	15.2	10.6	9.8	7.9	5.8	3.9	17.2				
年齢別	20 歳 未 満	24	29.2	54.2	29.2	25.0	12.5	-	12.5	-	8.3	20.8	12.5	12.5				
	20 ～ 29 歳	133	43.6	45.9	25.6	22.6	19.5	16.5	11.3	5.3	7.5	15.8	2.3	9.0				
	30 ～ 39 歳	305	42.0	46.6	24.6	16.4	17.4	22.0	12.8	9.8	7.5	5.2	3.3	11.8				
	40 ～ 49 歳	285	45.3	44.6	30.5	24.6	21.1	15.4	10.5	6.7	7.4	6.3	2.5	8.4				
	50 ～ 59 歳	307	45.6	46.6	27.0	20.8	16.9	7.8	11.1	8.8	9.4	4.2	4.9	13.0				
	60 ～ 69 歳	292	40.8	35.6	21.6	17.1	15.8	7.9	13.4	10.6	10.3	4.5	6.2	23.6				
	70 ～ 79 歳	214	40.7	29.4	21.5	15.0	14.0	6.1	8.9	11.7	7.9	3.3	7.0	31.3				
	80 歳 以 上	57	35.1	21.1	12.3	19.3	8.8	10.5	7.0	12.3	8.8	3.5	12.3	35.1				

(2) 市の将来のイメージ (A・B：問35②)



【全体】

市の将来のイメージについて聞いたところ、「都市と自然が共存しているまち」(39.0%)がほぼ4割で最も高くなっている。次いで、「居住環境・生活環境の整備されたまち」(35.4%)、「交通の利便性の高いまち」(34.5%)となっている。

【経年変化】

前回調査との比較は、選択肢が異なるため、参考に掲載する。

表2-2-1 市の将来のイメージー経年変化(3つまでの複数回答)

順位	平成23年度 (n=1,629)		平成21年度 (n=3,218)		平成19年度 (n=3,006)		平成17年度 (n=2,010)	
	イメージ	割合 (%)	イメージ	割合 (%)	イメージ	割合 (%)	イメージ	割合 (%)
1	都市と自然が共存しているまち	39.0	自然環境の豊かな都市	56.3	自然環境の豊かな都市	61.3	自然環境の豊かな都市	75.3
2	居住環境・生活環境の整備されたまち	35.4	居住環境・生活環境の整備された都市	49.7	居住環境・生活環境の整備された都市	52.3	保健福祉都市	35.5
3	交通の利便性の高いまち	34.5	防犯・防災対策が充実した都市	44.3	防犯・防災対策が充実した都市	47.3	心のふれあいのある交流都市	30.4
4	防犯・防災対策が充実したまち	32.5	保健福祉都市	23.2	保健福祉都市	26.4	居住環境・生活環境の整備された都市	29.9
5	保健福祉・子育て環境が充実したまち	31.4	若者が多い活気のある都市	20.4	若者が多い活気のある都市	17.7	若者が多い活気のある都市	20.8

【属性別】

性別にみると、女性で「保健福祉・子育て環境が充実したまち」(36.9%)が男性より12.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代で「居住環境・生活環境の整備されたまち」(47.0%)が5割近く、20歳代から40歳代の年代で「保健福祉・子育て環境が充実したまち」(39.8%・42.6%・41.1%)が4割前後で他の年代より高くなっている。また、20歳代で「花火大会や温泉のある商業・レジャーのまち」(19.5%)が2割で他の年代より高くなっている。

表2-2-2 市の将来のイメージ性別、年齢別（3つまでの複数回答）

			都市と自然が共存しているまち	整備されたまち 居住環境・生活環境の	交通の利便性の高いまち	防犯・防災対策が充実したまち	充実したまち 保健福祉・子育て環境が	自然環境の豊かなまち	若者が多い活気のあるまち	した流通機能の高いまち インターネットをい	花火大会や温泉のあるまち 商業・レジャーの	研究所・大学等のあるまち	自治活動の活発なまち	無回答
		n	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全 体		1,629	39.0	35.4	34.5	32.5	31.4	24.9	17.9	11.8	8.8	7.4	4.7	11.5
性別	男 性	694	39.9	37.8	35.9	31.0	24.5	25.2	19.5	13.5	8.1	9.1	5.2	11.0
	女 性	917	37.9	33.9	33.8	34.0	36.9	25.0	16.7	10.8	9.3	6.0	4.5	11.5
年齢別	20歳未満	24	45.8	41.7	29.2	25.0	33.3	25.0	25.0	4.2	16.7	4.2	8.3	4.2
	20～29歳	133	37.6	32.3	39.8	34.6	39.8	19.5	18.0	14.3	19.5	6.0	3.0	6.0
	30～39歳	305	41.6	38.4	37.4	35.7	42.6	22.0	13.8	14.1	10.8	6.2	4.9	5.6
	40～49歳	285	40.0	47.0	35.4	39.6	41.1	24.2	14.4	8.8	9.8	6.3	5.3	4.6
	50～59歳	307	45.6	39.4	35.5	33.6	27.7	28.0	21.2	12.7	7.5	7.8	4.6	7.2
	60～69歳	292	40.1	30.5	29.8	25.7	23.3	28.4	21.2	12.7	5.5	6.2	4.5	16.8
	70～79歳	214	28.5	23.8	34.6	28.0	16.8	24.8	18.7	11.2	4.7	11.7	5.6	25.2
	80歳以上	57	15.8	15.8	26.3	28.1	19.3	24.6	17.5	7.0	3.5	10.5	1.8	35.1